

新病院に関するご意見・ご質問（R5.10.29 高度医療・人材育成拠点に関する県民公開セミナー〔新病院セミナー〕）への回答

番号	ご意見・ご質問	県の考え方
1	J R広島病院、中電病院（中国電力本社）の財務状況（債務を含む？）は？	県の病院ではなく、民間病院であることから、経営に関する回答は差し控えさせていただきます。
2	J R広島病院、中電病院（中国電力本社）、J R西日本との交渉の進捗状況は？	<p>J R広島病院とは、病院事業譲渡契約の締結に向け、交渉を続けております。</p> <p>中電病院（中国電力株式会社）とは、2030 年度に開院予定の新病院へ、円滑に統合できるよう人事交流等について協議を続けております。</p> <p>J R西日本とは、新病院の建設予定地の取得に関し交渉を続け、10 月下旬に不動産売買契約を締結しました。</p>
3	県病院の土地・建物、誰のものになるのか？	現在の県立広島病院の土地・建物は、県が所有しています。（土地については、一部他所有あり）跡地活用案につきましては、令和5年9月に示した方向性に基づき検討してまいります。
4	新病院に移行する理由はあるのか？	<p>本県においては、医師や診療科の偏在、高度医療機器の分散、都市部における医療機能の重複などに課題があり、とりわけ、高度な医療資源（医療スタッフ・高額医療機器・医療施設）が集中する広島都市圏において、医療資源を集約化することにより、県内全域を対象に高い水準の医療を提供するとともに、中山間地域の地域医療を維持する必要があります。</p> <p>そのため、広島都市圏に所在する、県立広島病院、J R広島病院、中電病院の3病院を中心とした医療機能の再編により、多くの医療資源を集約し、診療体制が充実した新病院において、高度な医療や様々な症例が集積された魅力的な環境を整備することにより、全国から意欲ある若手医師を惹き寄せ、患者の状態に応じた切れ目のない医療を提供する地域完結型医療を実現するとともに、医育機関との連携・協働により、医療人材の派遣・循環体制を構築する必要があります。</p> <p>新病院の整備を契機として、将来にわたって、県民の皆様がどこに住んでいても、必要な医療を安心して受けることができる体制の構築に向けて、全力で取り組んでまいります。</p>

番号	ご意見・ご質問	県の考え方
5	地方独立行政法人を作るメリット、デメリットは？	<p>地方独立行政法人については、身分が非公務員となることについて、移行する職員の中にはデメリットと感じる方もいらっしゃるかもしれない一方で、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療ニーズに応じて、必要な医療スタッフを適時増員するなど迅速な対応ができること ・最新の医療機器の導入など、時機を得た医療体制を整備し、高度・先進医療を提供できること ・救急医療や小児医療などの政策医療を実施し、外部評価を受けながら質の確保・向上の対応を図る体制が確保できること <p>など、様々な面で事業運営に資する柔軟な対応が可能な制度として設計されております。医療環境が目まぐるしく変化する中で先進的な医療へキャッチアップしながら、政策医療へも対応していくには、地方独立行政法人の設立・移行は欠かせないと考えております。</p>
6	県立の新病院をつくるメリット、デメリットは？	<p>メリットとしては、県民の皆様が全国トップレベルの高水準かつ安全な医療が県内で受けられることや、豊富な症例が充実した指導体制を背景に、医療人材が集積する病院を整備することで、地域の医療を安定的に確保し続けられることが挙げられます。</p> <p>なお、病院の統廃合後も、既存病院周辺の皆様が安心して暮らし続けられるよう、医療連携体制の構築に努めてまいります。</p>
7	県立広島病院の自己電源の場所・位置は問題ないか？	<p>基本計画では、浸水ラインを想定して電源等の重要設備を2階以上に適正に配置することとしています。詳細については、基本設計・実施設計の中で決めることとなります。</p>
8	赤字化した場合、誰が責任を取るのか	<p>新たに設立する、地方独立行政法人の経営責任者は理事長となります。また、設立団体となる県は、中期目標の設定や、中期計画の認可など、引き続き法人の指導・監督を行う立場を通じ適切な経営を確保してまいります。</p>

番号	ご意見・ご質問	県の考え方
9	新病院はなぜ 1000 床必要なのか？	<p>新病院の病床数については、本県における年齢階層別の受療率から、将来の人口推計を踏まえた 2035 年時点の医療需要から見込まれる患者数の見通しに加えて、新病院が提供する医療レベルの向上や、集積した医療人材の育成機能の向上、さらには、高齢化に伴う救急医療需要の増加などを加味した上で、県内の高度医療の提供状況を踏まえ、必要十分な病床数として 1,000 床としております。</p>
10	新病院構想についてどなたが責任を持ってこの計画を進められていますか。また、責任者はどなたでしょうか。	<p>執行機関の長として、県知事が最終的な意思決定を行いながら、この計画を組織をあげて全力で取り組んでいるところでございます。</p>
11	子どもたちの健やかな成長のため、新病院における新しい取り組みなどがあればお聞きしたいと思います。	<p>新病院は、広島県における小児救急・小児医療の拠点病院としての役割を目指しています。具体的には、24 時間 365 日対応の ER 機能を併設した小児救命救急センターの整備によるウォークインを含めた一次救急から三次救急までの小児救急患者への対応や、小児集中治療室（PICU）の整備による救急・術後を含めた重症患者への対応を検討しています。</p>
12	JR 広島駅から雨天でも濡れずに通院できる対策は如何でしょうか	<p>広島県としても JR 広島駅に近いという利点を最大限活かしたいと考えております。JR 広島駅からの動線については、新病院だけで実現できることではないので貴重なご意見として承り、検討項目の一つに加えたいと考えております。</p>
13	小児救急やNICUについて聞きたい。	<p>小児救急については、ER 機能を併設した小児救命救急センターとして、一次救急から三次救急までを新病院で対応することを目指しています。また、重症例に対応できるよう、PICU（小児集中治療室）を整備します。</p> <p>NICU（新生児集中治療室）については、県立広島病院の機能を引き継ぎ、総合周産期母子医療センターとして、引き続き安心して子供を産み育てることができるよう、24 時間体制で周産期医療を提供します。</p>

番号	ご意見・ご質問	県の考え方
14	災害や感染症の基幹病院の役割。	<p>災害については、基幹災害拠点病院として、災害時の重篤救急患者の救命医療や患者が同時多数発生した場合等に必要な医療を提供するため、県内での災害発生時には、広島県と連携し、他県からのDMATの受入れなど、災害医療の最前線としての役割を担います。また平時には、災害医療に対する教育・研修を実施します。</p> <p>感染症は、流行状況に合わせて柔軟に対応できるよう、病棟の一部を迅速に感染症対応病床に転換できるシステムを構築し、手術室等においては感染症患者に対する治療が可能な陰圧個室を整備します。また、地域の医療機関と連携し、組織的な感染防止対策の基幹的な役割を果たすとともに、広島大学等の協力の下、広島県の感染症対応に寄与する専門職種の人材育成機能を担います。</p>
15	JR広島病院の近くの道路では、平日の朝から車の列ができていますが、新病院によってさらに渋滞するのでは？	<p>敷地内に専用道路を設けて、車両を引き込み、敷地外の道路に車両が滞留しないように配慮します。</p> <p>令和5年4月に行った交通量調査に基づき、新病院及び高速5号線整備後における主な周辺交差点の交通量を推計しましたが、交通量がピークとなる午前8時台においても新幹線口西の交差点を除いて、渋滞は発生しないと見込んでおります。</p> <p>新幹線口西の交差点の渋滞については、信号の時間調整を行うことにより解消が可能と見込んでおります。</p>
16	駐車場の完成が開院の翌年とされているが、駐車場が完成するまでどうするのか？	<p>まず、JR広島駅に近いという強みを活かし、公共交通機関の御利用をお願いしていきたいと考えております。</p> <p>やむを得ず自家用車で来院される方のためには、仮設の臨時駐車場を設けるなどの対策を検討するほか、周辺の民間駐車場の協力を得ることなども検討してまいります。</p>
17	県病院の跡地活用の方向性について、いつ具体化するのか。	<p>跡地活用の方向性の具体化につきましては、その時期や住民の皆様への周知方法も含めまして、現在検討中です。</p>
18	医師が中山間地域に派遣される際、キャリアアップや子育てのしやすい環境、女性医師の働きやすい環境を考慮してもらえるか。	<p>各地域で医療機関のネットワークを構築し、拠点病院から中小病院、診療所への診療応援やオンラインを活用した医師の共同研修といった地域内の人的交流や教育支援体制を整備するとともに、ライフステージに配慮した勤務地の決定や勤務形態についても検討してまいります。</p>

番号	ご意見・ご質問	県の考え方
19	現在の県病院より高い稼働率を想定しているが、実現できるとする根拠は何か。	<p>本県における年齢階層別の受療率と、将来の人口推計を踏まえた 2035 年時点の医療需要から見込まれる患者数の見通しに加えて、県内の医療再編も含めた高度医療の提供状況を踏まえ、病床数を設定したところです。</p> <p>そのため、再編対象病院全体の病床数の減少と各医療機関において役割分担を行うことなどにより、新病院はより高い稼働率で稼働できるものと考えております。</p> <p>加えて、基本計画においては、患者確保に向けた他医療機関との連携、救急体制の確保、効率的な病床管理の実現などについて、経営戦略を策定することとしたところであり、引き続き持続可能な病院経営に向けた検討を着実に進めてまいります。</p>
20	新病院開院後、県からの負担額が年約8億円と発表されていたが、県民に対して相応のメリットはあるのか。	<p>新病院は、小児・周産期、救急医療、災害時医療に加え、難易度の高い症例が集積された高度急性期・急性期機能を担うハイボリュームセンターとして、県民の皆様に全国トップレベルの高水準かつ、安全な医療を提供します。</p> <p>また、広島県の医療を支える医療人材の確保・育成や、中山間地域をはじめとする県内全域の地域医療を維持するための体制を構築します。</p> <p>新病院の整備を契機として、将来にわたって、県民の皆様がどこに住んでいても、必要な医療を安心して受けることができる体制の構築に向けて、全力で取り組んでまいります。</p>
21	医師派遣の調整はどのように行っていくのか。医局中心の現状からどう変わるのか。	<p>医師の派遣については、地域の拠点病院が中心となって、地域全体の必要医師数や課題を集約し、この情報に基づいて、今後新たに設置する会議体において、大学や県などの人事権者で共有、調整を行い、地域の医療提供体制の維持・確保に取り組むこととしています。</p> <p>なお、大学医局の人事機能を変更するものではなく、各人事権者間（各医局、県）の連携・調整を図ることで、地域に真に必要とされている医師の配置・循環に努めてまいります。</p>
22	県立広島病院移転後の医療体制はどうなるのか。	<p>地域懇話会及び住民アンケートの結果を踏まえて、跡地活用の方向性を整理しており、地域の方が引き続き安心して暮らし続けることができるよう、地域の医療機関との連携や高齢者等のアクセスを考慮した上で、必要な医療サービスを受けられる体制を整えます。</p>

番号	ご意見・ご質問	県の考え方
23	各病院を統合した後の病院が無くなった地域の医療は、どうするのか。	<p>医療再編による影響が予想される地域において、地域の代表者等から構成される地域懇話会における意見や延べ1,753名に御回答いただいたアンケート結果を踏まえて、県として県立広島病院の跡地活用の方向性をお示したところです。</p> <p>跡地活用の方向性において、引き続きお住まいの地域で医療介護福祉のサービスが受けられるように検討をすることとしているため、その具体化に向けて今後更なる検討をまいります。</p>
24	P I C Uとは？病床数は？手術室は何部屋？	<p>P I C Uとは、小児集中治療室のことで、小児を対象とした、手術後の管理や入院中に増悪した患者、重症の救急患者のための病室のことです。</p> <p>病床は1,000床（一般病床950床、精神病床50床）を予定しています。</p> <p>手術室は25室整備予定です。</p>
25	中電病院は無くなってしまふのか？中電病院の人間ドック部門はどうなるのか？	<p>新病院への移行をもって、中電病院としての医療およびサービスの提供は終了する予定と聞いております。</p>
26	全国の専門医とどの様に技術連携するのでしょうか？	<p>全国の専門医との連携については、引き続き検討を進めてまいります。</p>
27	広島県の医療における病院の位置づけ	<p>新病院は、大学病院と連携しながら、県内各地域の拠点病院とのネットワークの構築により、高度急性期・急性期機能のハイボリュームセンターとして拠点病院等でも困難な症例等へ対応するなど、県民の皆様へ全国トップレベルの高水準かつ安全な医療を提供し、医療連携のネットワークを通じた、広島県内の医療水準の向上に貢献します。</p>

番号	ご意見・ご質問	県の考え方
28	新病院を造る目的	<p>本県においては、医師や診療科の偏在、高度医療機器の分散、都市部における医療機能の重複などに課題があり、とりわけ、高度な医療資源（医療スタッフ・高額医療機器・医療施設）が集中する広島都市圏において、医療資源を集約化することにより、県内全域を対象に高い水準の医療を提供するとともに、中山間地域の地域医療を維持する必要があります。</p> <p>広島都市圏に所在する、県立広島病院、JR広島病院、中電病院の3病院を中心とした医療機能の再編により、診療体制が充実した新病院において、高度な医療や様々な症例が集積された魅力的な環境を整備することにより、全国から意欲ある若手医師を惹き寄せ、患者の状態に応じた切れ目のない医療を提供する地域完結型医療を実現するとともに、医育機関との連携・協働により、医療人材の派遣・循環体制を構築することを目指しています。</p> <p>新病院の整備を契機として、将来にわたって、県民の皆様がどこに住んでいても、必要な医療を安心して受けることができる体制の構築に向けて、全力で取り組んでまいります。</p>
29	周辺医療施設への影響	<p>急性期治療後の回復期リハビリテーション医療などを担うポストアキュート機能や、在宅・介護施設等において症状が急性増悪した患者に対応するサブアキュート機能の需要が広島都市圏において高まることを見込まれています。このような医療需要の変化に適切に対応できるよう、各医療機関の機能分化・連携のあり方について、引き続き各関係者と検討を進めてまいります。</p>
30	レスパイトは新病院に移行した時、ベッドは何床を考えておられますか？年齢や住所に制限はありますか。	<p>舟入市民病院が担っているレスパイトを引き続き継続できるよう、広島市等と検討してまいります。</p>
31	新病院周辺は渋滞するのではないか。	<p>敷地内に専用道路を設けて、車両を引き込み、敷地外の道路に車両が滞留しないように配慮します。</p> <p>令和5年4月に行った交通量調査に基づき、新病院及び高速5号線整備後における主な周辺交差点の交通量を推計しましたが、交通量がピークとなる午前8時台においても新幹線口西の交差点を除いて、渋滞は発生しないと見込んでおります。</p> <p>新幹線口西の交差点の渋滞については、信号の時間調整を行うことにより解消が可能と見込んでおります。</p>

番号	ご意見・ご質問	県の考え方
32	どうやって中山間地域に医師を派遣するのか。	<p>医師の派遣については、地域の拠点病院が中心となって、地域全体の必要医師数や課題を集約し、この情報に基づいて、今後新たに設置する会議体において、大学や県などの人事権者で共有、調整を行い、地域の医療提供体制の維持・確保に取り組むこととしています。</p> <p>なお、大学医局の人事機能を変更するものではなく、各人事権者間（各医局、県）の連携・調整を図ることで、地域に真に必要とされている医師の配置・循環に努めてまいります。</p>
33	再編や統合予定の医療機関にも、人材派遣や投資をしていただきたい。	<p>高度急性期・急性期を中心とした医療を提供する体制を整備するため、県立広島病院、J R広島病院、中電病院及びその他の再編対象病院等の看護師や薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、管理栄養士等の医療技術職等の円滑な受入れを進めるほか、新病院開院前から計画的な採用・交流、人材育成・必要な研修の仕組みづくりに取り組めます。</p> <p>新病院に統合する中電病院とは、新病院開院までの間、中電病院が安定的な事業運営を継続できるよう、医療スタッフの確保や相互の患者紹介等により連携していきます。</p> <p>また、県立広島病院、J R広島病院、県立安芸津病院の現状や経営改善の取組等を点検して、必要な収益向上や経費節減の方策を着実に講じるとともに、診療機能の向上に必要な設備投資や体制整備等を積極的に行います。</p>
34	<p>広島県民として小児を含めて高度医療の新病院ができることを期待しています。</p> <p>ただ、規模、高度な医療内容などから、予定されている人員体制ではかなり不足（無理？）ではないかと思いますがどうでしょうか？</p> <p>急性期病院（救急部門）に勤務するものとして不安です。</p>	<p>人材の確保については、新病院開院前から計画的な採用・交流や人材育成、必要な研修の仕組みづくりに取り組めます。</p> <p>特に、手術部門、小児救急を重点領域とし積極的な人材確保・育成を行ってまいります。</p> <p>また、新病院において新たに採用を見込む職種等は、開院前から計画的な採用・育成を検討するとともに、多様な勤務形態を取り入れ、職員にとって働きやすい環境を整備するなど、人材の確保に努めます。</p> <p>こうした考えの下、医療従事者の具体的な人員体制について、現在検討中です。</p>
35	待ち時間短縮	<p>新病院では、患者呼び出しシステム（待合表示板、スマホ連動等）、A I問診、オンライン資格確認対応の再来受付機、自動精算機等の仕組みの導入など、診察や検査、会計の待ち時間の短縮、利便性向上を図ります。</p>

番号	ご意見・ご質問	県の考え方
36	小児医療について舟入HPは今後どの様になるのですか？	舟入市民病院は、小児救急を含めた小児診療機能を新病院へ集約することとしております。また、その他の医療機能のあり方については、広島市、市立病院機構及び舟入市民病院で検討されるとお聞きしております。
37	広島駅とのアクセスは徒歩のみですか	JR広島駅からの動線については、新病院だけで実現できることではないので、各関係者と検討を進めたいと考えております。
38	新病院への課題は	<p>広島都市圏における医療需要や、各医療機関が地域で担っている役割を踏まえ、新病院の整備を契機とする医療提供体制のあり方について引き続き検討が求められております。</p> <p>このため、新病院に急性期医療を集約し、救急医療において他の医療機関での対応が難しい患者を受け入れる「断らない救急」の実現や、複合的な疾患を抱える患者に最適な治療を行うため、かかりつけ医を含む各地域の医療機関と緊密に連携を図ります。</p> <p>今後も、新病院の整備と並行して、新病院を含む基幹病院や地域の医療機関との適切な役割分担の下、患者の状態に応じた切れ目のない医療を提供できる体制の構築に取り組んでまいります。</p> <p>また、建築資材・人件費などの原価高騰、物価上昇等により事業費の変動リスクがあることから、国への要望を通じた財源確保や、収支計画の実現のための戦略の更なる具体化・精緻化を行ってまいります。</p>
39	救急搬送で処置困難で受け入れが出来ないと言う事は解消されますか。	新病院は、患者の状態に応じた適切な救急医療を提供するため、周辺医療機関と連携した上で、マンパワーの集約によって救急応需率を高め、24時間365日救急搬送の受入れに応じる“断らない”体制による、広島都市圏の救急医療の“砦”としての役割を目指し、今後も引き続き、検討を進めていきます。
40	もっとといねいな説明を時間をとってする必要があります！	県では、令和3年度から高度医療・人材育成拠点に係る協議内容を県のホームページで適宜掲載するとともに、県議会（常任委員会）に進捗状況を報告してきました。今後も引き続きホームページへの掲載や県議会への報告、当セミナーの開催に加え、県民の皆様へ新病院構想について広く周知するため、様々な媒体を用いて、コミュニケーションに努めてまいります。

番号	ご意見・ご質問	県の考え方
4 1	器はできても中身が問題。患者に寄り添った病院であって欲しい	新病院では、基本方針の1つに「県民の信頼に応える病院」を掲げており、高い医療レベルだけでなく、全ての職員が患者に寄り添う心を持った上で、医療を提供してまいります。
4 2	多くの病院では物品管理スペースが狭く効率化しづらい	診療材料、薬剤をはじめ、日常診療に支障がない在庫を院内に保有し、管理することとしております。また、診療材料の保管方式については、物品管理業務委託業者による院外倉庫を活用した「院外倉庫方式」を基本としつつ、緊急時に使用する材料等の保管スペースや、物品供給のための作業に要するスペースは、院内に必要分確保する予定としております。
4 3	医師配置についての情報提供を早めにおねがいします。	新病院の医師配置については、新病院が高度急性期・急性期機能を担うことから、全国の類似病院の人員数等を参考としつつ、必要な人数を試算しているところです。
4 4	医師確保の話は出たが、NSその他の人材確保はどのように考えておられますか	<p>人材の確保については、新病院開院前から計画的な採用・交流や人材育成、必要な研修の仕組みづくりに取り組めます。</p> <p>特に、手術部門、小児救急を重点領域とし積極的な人材確保・育成を行ってまいります。</p> <p>また、新病院において新たに採用を見込む職種等は、開院前から計画的な採用・育成を検討するとともに、多様な勤務形態を取り入れ、職員にとって働きやすい環境を整備するなど、人材の確保に努めます。</p> <p>こうした考えの下、医療従事者の具体的な人員体制について、現在検討中です。</p>
4 5	合併は当初から弊害が多く出るので事前に完了しておく事	高度急性期・急性期を中心とした医療を提供する看護体制を整備するため、県立広島病院、JR広島病院、中電病院及びその他の再編対象病院等の看護師や薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、管理栄養士等の医療技術職等の円滑な受入れを進めるほか、新病院開院前から計画的な採用・交流、人材育成・必要な研修の仕組みづくりに取り組めます。

番号	ご意見・ご質問	県の考え方
46	<p>医師以外の医療スタッフの確保や、P I C Uなどの専門的なスタッフの育成について具体的に知りたい</p>	<p>医療スタッフの確保については、新病院開院前から計画的な採用・交流及び必要な研修などの人材育成の仕組みづくりに取り組めます。</p> <p>新病院において新たに採用を見込む職種等は、開院前から計画的な採用・育成を検討するとともに、多様な勤務形態を取り入れ、職員にとって働きやすい環境を整備するなど、人材の確保に努めます。</p> <p>特に、手術部門、小児救急を重点領域として積極的な人材確保・育成を行ってまいります。</p>
47	<p>駅周辺の道路の整備は気になります</p>	<p>敷地内に専用道路を設けて、車両を引き込み、敷地外の道路に車両が滞留しないように配慮します。</p> <p>令和5年4月に行った交通量調査に基づき、新病院及び高速5号線整備後における主な周辺交差点の交通量を推計しましたが、交通量がピークとなる午前8時台においても新幹線口西の交差点を除いて、渋滞は発生しないと見込んでおります。</p> <p>新幹線口西の交差点の渋滞については、信号の時間調整を行うことにより解消が可能と見込んでおります。</p>
48	<p>急性期など高度医療に集約され近くのHP救急受診は今後どうなるか</p>	<p>広島都市圏における医療需要や、各医療機関が地域で担っている役割を踏まえ、新病院の整備を契機とする医療提供体制のあり方について引き続き検討を進めてまいります。</p> <p>このため、新病院に急性期医療を集約し、救急医療において他の医療機関での対応が難しい患者を受け入れる「断らない救急」の実現や、複合的な疾患を抱える患者に最適な治療を行うため、かかりつけ医を含む各地域の医療機関と緊密に連携を図ります。</p> <p>今後も、新病院の整備と並行して、新病院を含む基幹病院や地域の医療機関との適切な役割分担の下、患者の状態に応じた切れ目のない医療を提供できる体制の構築に取り組んでまいります。</p>

番号	ご意見・ご質問	県の考え方
49	新病院のメリット、デメリットを明確にして、デメリットの解消をお願いします。	<p>メリットとしては、県民の皆様が全国トップレベルの高水準かつ安全な医療が県内で受けられることや、豊富な症例が充実した指導体制を背景に、医療人材が集積する病院を整備することで、地域の医療を安定的に確保し続けられることが挙げられます。</p> <p>なお、病院の統廃合後も、既存病院周辺の皆様が安心して暮らし続けられるよう、医療連携体制の構築に努めてまいります。</p>
50	小児医療の前に周産期医療がありますがどの様になりますか？	<p>総合周産期母子医療センターである県立広島病院の機能を引き継ぎ、母体・胎児集中治療室（MFIICU）、新生児集中治療室（NICU）及び新生児治療回復室（GCU）を整備し、ハイリスク妊娠・分娩、早産児、低出生体重児及び先天性疾患などを有する児の胎児治療を含めて対応し、広島圏域における周産期医療の中核病院かつ周産期研究及び教育機関として機能します。</p> <p>産科診療機能では、県内の周産期医療機関や地域の産科医療機関と連携しながら、24時間365日院外からの緊急搬送を含め、常に帝王切開を実施できる体制を確保し、ハイリスク分娩に積極的に対応するなど、引き続き安心して子供を産み育てることができる周産期医療を体制を維持します。</p>
51	定期的継続が必要「特に県HP跡地について」	<p>県では、令和3年度から高度医療・人材育成拠点に係る協議内容を県のホームページで適宜掲載するとともに、県議会（常任委員会）に進捗状況を報告してきました。今後も引き続きホームページへの掲載や県議会への報告、当セミナーの開催に加え、県民の皆様へ広く周知するため、様々な媒体を用いて、コミュニケーションに努めていきたいと考えています。</p> <p>また、跡地活用の方向性の具体化につきましては、その時期や住民の皆様への周知方法も含めまして、現在検討中です。</p>

番号	ご意見・ご質問	県の考え方
52	新病院の設立の目的は今迄、新聞の記事ではチンパンカンパンであったが、本日、必要性和重要性を理解出来た。他の人も同じと思うので勉強会をふやしてほしい	県では、令和3年度から高度医療・人材育成拠点に係る協議内容を県のホームページで適宜掲載するとともに、県議会（常任委員会）に進捗状況を報告してきました。今後も引き続きホームページへの掲載や県議会への報告、当セミナーの開催に加え、県民の皆様へ新病院構想について広く周知するため、様々な媒体を用いて、コミュニケーションに努めてまいります。
53	もっとPRが、情報公開が必要と思う	
54	周りの交通渋滞、パーキング、人流をスムーズにしてほしい	<p>敷地内に専用道路を設けて、車両を引き込み、敷地外の道路に車両が滞留しないように配慮します。</p> <p>令和5年4月に行った交通量調査に基づき、新病院及び高速5号線整備後における主な周辺交差点の交通量を推計しましたが、交通量がピークとなる午前8時台においても新幹線口西の交差点を除いて、渋滞は発生しないと見込んでおります。</p> <p>新幹線口西の交差点の渋滞については、信号の時間調整を行うことにより解消が可能と見込んでおります。</p> <p>また、駐車場については、1日あたりの来院者数（外来患者数）を1,800人と想定し、そのうち約50%が車で来院し、1日あたり900台を見込んでいます。そのため、来院者向けの必要駐車台数は約400台とし、約500台を収容する自走式立体駐車場を配置します。職員やサービス車両の動線は来院者用と分離し、利便性と安全に配慮します。</p> <p>人の流れについては、新病院では、患者呼び出しシステム（待合表示板、スマホ連動等）、AI問診、オンライン資格確認対応の再来受付機、自動精算機等の仕組みの導入など、診察や検査、会計の待ち時間の短縮、利便性向上を図ります。</p>

その他ご感想など

- 広島県の基本計画は良くない計画ですね。
- 救急車の受入体制強化に期待します。
- 安佐北市民が遠くなり、広島駅の駅迄が近いので良いかと思いました。車に乗れない。
- 交通不便が大問題
- 高度医療が受けられる病院が身近にあるのは安心
- 期待しています。特に小児医療、保健
- コロナ禍時中止していた今後、新病院ができるまで再三に要望を満してほしい。本日は大変勉強になりました。
- 新病院の情報が少しわかった。
- 小児医療の強化は今後の広島県にとって重要。子供病院がこれまでなかった事も問題であった。
- 絵にかいたもちだ！
- 安佐北市民しか知らないので、広く分かりました（少し）
- 新病院での小児科のあり方もきけ又小児医療の現状今後のあり方もきけ良かったです
- 医師が働きやすい環境が整備されるよう期待します。
- 広島の今後の医療の構想がよくわかりました。
- 県立病院（宇品、安芸津）、JR病院、中電病院を廃止する根拠がないことが分かりました。
- 理想像の実現に期待します。
- 患者が第一で観光他は第二で検討下さい。
- 新病院の小児科が日本中の医師にとってあこがれとなり、広島県の小児科医師数が増えてほしい
- 他県に誇れる新病院をぜひ造って（作って）もらいたい。名実共に！
- 南区民からの交通はとても不便だ
南区民を見すてるのか
- 今回、地方独立行政法人になるとは一言もなかった。なぜ本当のことを言わないのか
- 医師になりたい若者を応援したい。
- 新病院に対する考えがわかりました。